

過去の世論調査から見る国民の防災対策の状況

1. 過去に実施されている防災対策に関する世論調査の概要

「防災に関する世論調査」(平成14年)

調査概要	調査対象	全国20歳以上の者3,000人
有効回収数		2,155人 (回収率71.8%)
調査期間		平成14年9月5日～9月15日
調査方法		調査員による個別面接聴取
調査項目		災害に関する意識について 地震対策に関する意識について 防災情報に関する意識について 防災訓練等に関する意識について 災害時のボランティア活動に関する意識について 自主防災活動に関する意識について

「地震防災対策に関する特別世論調査」(平成17年)

調査概要	調査対象	全国20歳以上の者3,000人
有効回収数		1,863人 (回収率62.1%)
調査期間		平成17年8月11日～8月21日
調査方法		調査員による個別面接聴取
調査項目		大地震の起こる可能性 耐震診断や耐震改修を実施したことがあるか 大地震に対する住宅の危険度 耐震補強工事ができる条件 ハザードマップ等の公表について

「地震防災対策に関する特別世論調査」(平成19年)

調査概要	調査対象	全国20歳以上の者3,000人
有効回収数		1,757人 (回収率58.6%)
調査期間		平成19年10月4日～10月14日
調査方法		調査員による個別面接聴取
調査項目		耐震補強工事の実施について 耐震補強工事の実施予定がない理由 大地震に備えてとっている対策 家具や冷蔵庫などを固定しない理由 ハザードマップの活用状況・意向 緊急地震速報を想定して準備しようと考えていること 緊急地震速報を受け取ることができればよいと思う手段

2. 防災対策の現状

大地震に備えてとっている対策

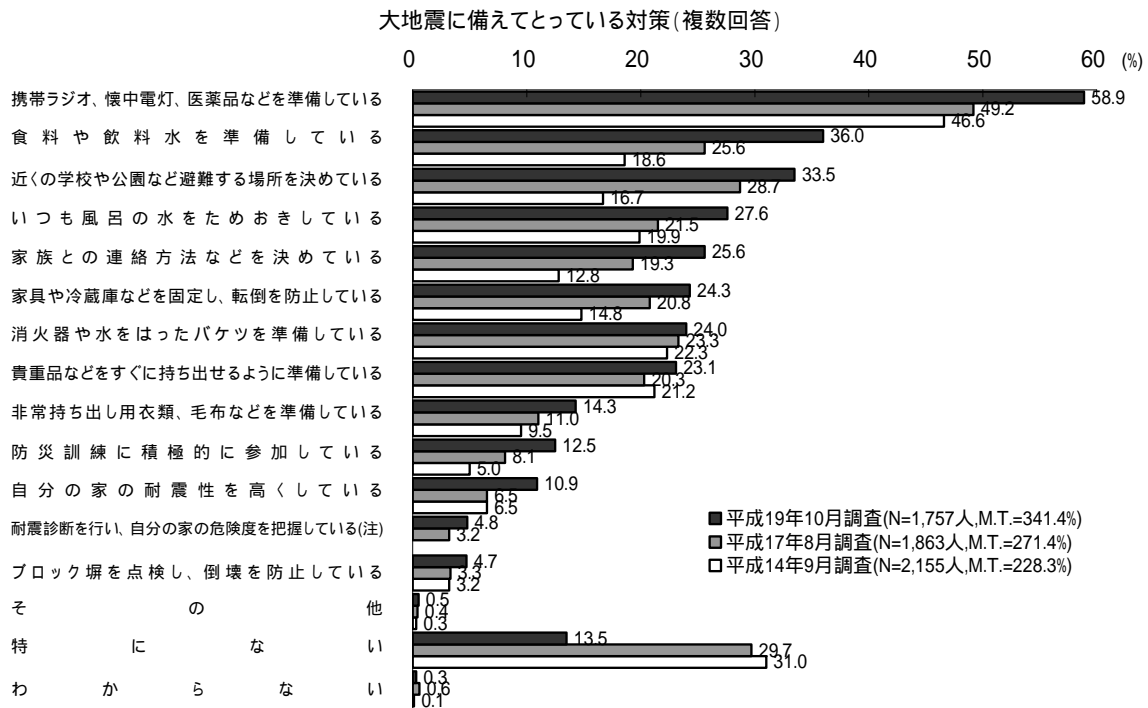
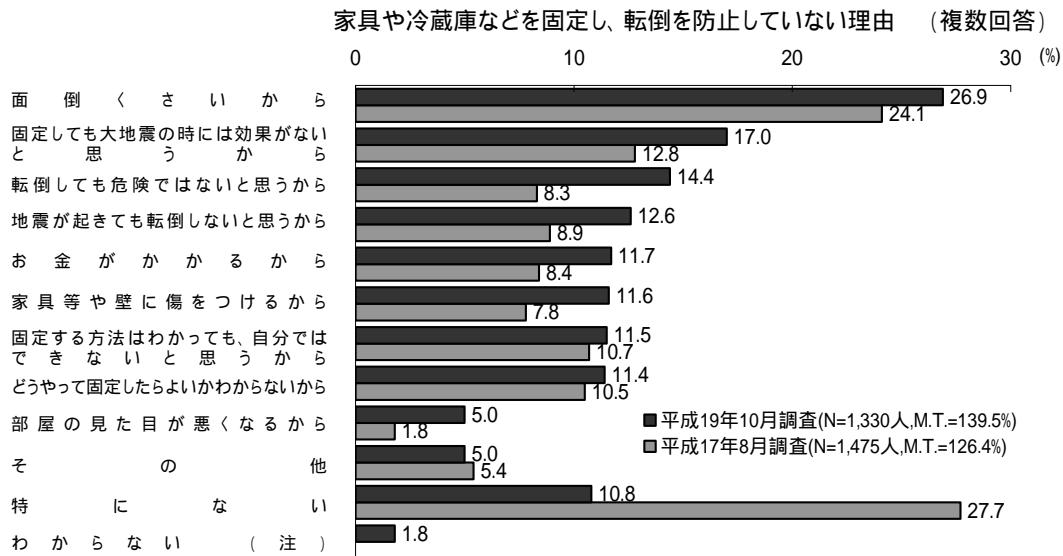


表 大地震に備えてとっている対策(過去の調査)

該当者数	(複数回答)																	計(M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	
平成19年10月調査	1,757	58.9	33.5	36.0	24.0	27.6	24.3	23.1	25.6	14.3	12.5	10.9	4.7	4.8	0.5	13.5	0.3	314.4
平成17年8月調査	1,863	49.2	28.7	25.6	23.3	21.5	20.8	20.3	19.3	11.0	8.1	6.5	3.3	3.2	0.4	29.7	0.6	271.4
平成14年9月調査	2,155	46.6	16.7	18.6	22.3	19.9	14.8	21.2	12.8	9.5	5.0	6.5	3.2	0.3	31.0	0.1	228.3	

- ・ 3回の調査のいずれにおいても、事前対策として最も多く行われている対策は「携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などを準備している」であり、平成19年の調査時点では58.9%であった。
- ・ 近年の地震において、家具類の転倒や落下物による負傷者が3割から5割を占めており、家具等の固定は重要な地震対策の一つであるが、「家具や冷蔵庫などを固定し、転倒を防止している」と回答した人の割合は徐々に高くなっているものの、平成19年の時点で24.3%と、依然として低い割合にとどまっている。
- ・ 住居の耐震性の確保は、減災目標の達成のために非常に重要な対策であるが、「自分の家の耐震性を高くしている」と回答した人の割合は非常に低く、平成19年の時点で10.9%にとどまっている。

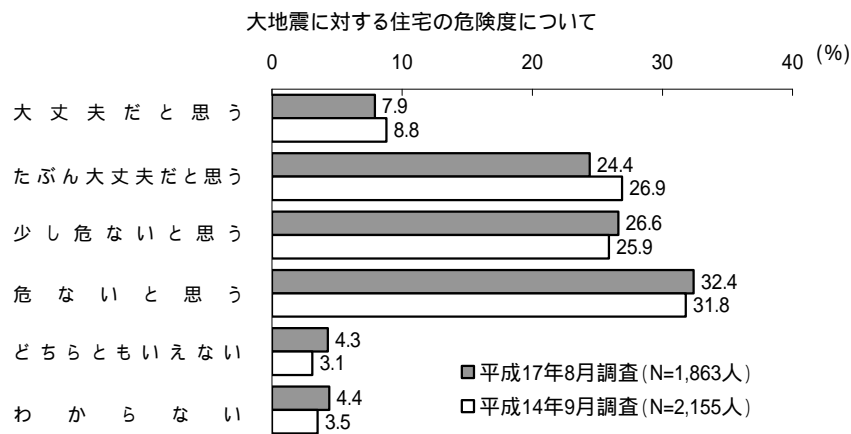
家具や冷蔵庫などを固定し、転倒を防止していない理由



(注)平成17年8月調査では、この選択肢は用いていない

- 平成17年の調査時点では、家具の固定を実施しない理由として最も多い回答は「特にない」であったが、平成19年の調査時点では、「面倒くさいから」が26.9%と最も多くなっている。
- 「どうやって固定したらよいかわからないから」、「固定する方法はわかっても、自分ではできないと思うから」、「固定しても大地震のときには効果がないと思うから」といった回答があり、現実の防災行動をとるのに必要な実践的知識を持ち合わせていなかったり、知識があってもそれを実践することが難しいと感じられていたりする。

大地震に対する住居の危険度についての意識



- 2回の調査のいずれにおいても、大地震に対して住居が「危ないと思う」と回答した人の割合が30%以上と最も高く、「大丈夫だと思う」と回答した人の約4倍である。
- 平成17年の調査時点の方が平成14年の調査時点よりも、大地震に対して住居が「大丈夫だと思う」、「たぶん大丈夫だと思う」と回答した人の割合がわずかに低くなっており、逆に、「少し危ないと思う」、「危ないと思う」と回答した人の割合はわずかに高くなっている。